沿道掘削施工承認申請書

○○ 年○○ 月 ○○ 日

（提 出 先）

足 立 区 長

申請者 住 所　○○区○○○丁目○番○号
法人名　○○○○建設(株)
氏名(代表者)　代表取締役　○○○○
電 話　○○（○○○）○○○○

現場担当者　○○○○
連絡先　○○（○○○）○○○○　←現場事務所等

下記のとおり沿道掘削を施工したいので、関係図書を添付のうえ申請いたします。

記

1 工事箇所 住居表示）　足立区○○○○ 丁目(町) ○○ 番○○ 号

2 申請目的及び理由　仮称）○○○○新築工事に伴う掘削工事のため

3 工期期間　○○ 年○○ 月○○ 日 から　○○ 年○○月○○ 日まで
掘削 杭打ち)から埋め戻しまでの期間

4 掘削範囲　⑴沿道延長　○○.○ m ←間口の長さまたは間口部の山留延長
⑵面　積　○○.○ ㎡ ←敷地内全体の掘削面積
⑶深　度　○○.○ m ←深さが複数のときは「○○.○ ~○○.○」

5 建築工事概要　別紙建築仕様概要書及び一般設計図のとおり

6 添付書類　委任状、誓約書、掘削工事仕様書、案内図、山留計画図、山留計算書、
道路現況図及び高低図、現況写真

建 築 仕 様 概 要 書

工事名　（仮称）○○○○新築工事　）

所在地	足立区○○○○ 丁目 ○○ 番○○ 号
敷地面積	○○○．○㎡
構造	鉄筋コンクリート
階数	地上○○階　地下○○階
建築面積	○○○．○㎡
延面積	○，○○○．○㎡
最高高さ	○○．○m
最高軒高	○○．○m
地階床深	GL－ ○．○mからGL－ ○．○m
用途	共同住宅
設備	雨水貯留槽
建築主	○○○○(株)　代表取締役　○○○○
設計管理者	(株)○○設計　代表取締役　○○○○
施工者	○○○○建設(株)　代表取締役　○○○○
建築確認年月日	○○ 年○○ 月○○ 日
建築確認番号	第○○○○号

委　任　状

年　月　日

委任者　住所
法人名　*〇〇〇〇(株)*
氏名　*代表取締役　〇〇〇〇*　印
代表者）

私は　*〇〇〇〇建設(株)　代表取締役　〇〇〇〇*

を代理人と定め下記事項を委任します。

記

足立区〇〇〇〇　丁目(町)　〇〇　番〇〇　号先の沿道掘削施工に関する一切の件

誓　約　書

（提出先）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　月　日

足 立 区 長

申請者 住 所　○○区○○丁目○○番○○号
法人名　○○○○建設(株)
氏 名　代表取締役　○○○○　　　　　印
（代表者）

施 主 住 所　○○区○○丁目○○番○○号
法人名　○○○○(株)
氏 名　代表取締役　○○○○　　　　　印
（代表者）

___（仮称）○○○○新築________________________________工事
(工事箇所　足立区○○○○　丁目(町)　○○　番○○　号先)に伴う沿道掘削施工については、足立区承認指示を厳守し危険防止及び道路管理上支障なきよう努めます。

当工事により道路構造物その他に損傷が生じた場合には、速やかに足立区に連絡し、足立区職員の指示に従い補修し、災害その他一切の責任を負い、かつ施工の際は原状に復旧します。

また、建築により建築物が道路境界線より出ましたときは、直ちに除去することを誓約いたします。

掘 削 工 事 仕 様 書

1 山留 (山留工法名、打込方法)

ケース1 鋼矢板工法 (Ⅲ型)L=○. ○○m ←矢板長 油圧式杭圧入工法(サイレントパイラー)

ケース2 親杭横矢板工法 (H-300×300×○○)L=○. ○○m オーガー併用圧入工法

2 根伐(ねぎり) 掘削深、掘削方法)

ケース1 GLから○. ○○mまで バックホウ○. ○m3 で掘削し、○. ○○mから ○○mまでクラムシェル○. ○m3 で掘削

ケース2 GLから○. ○○mまで バックホウ○. ○m3 で掘削

3 支保工取付及び取外し

一次掘削○. ○○mまで掘削し、支保工H-○○×○○を設置する。

二次掘削○. ○○mまで掘削し、支保工H-○○×○○を設置する。

○. ○○mまで埋戻用砂で埋め戻した時に支保工H-○○×○○を取り外し、○. ○○mまで埋め戻した時に支保工H-○○×○○を取り外す。

4 埋めもどし

ケース1 鋼矢板の引抜きによる空隙には良質な砂を水締め等により充填する。

ケース2 土留板を掘削後速やかに、掘削土壁との間に隙間のないようにはめ込み、土壁との間に隙間が出来たときは、裏込めを良質土にて水締めを行い、くさび等で隙間のないように固定する。

5 その他(残土運搬、排水処理、地下埋設物件)

残土運搬

残土運搬に当たっては、タイヤの清掃、荷台をシートで覆う等して残土を公道へ撒き散らさないようにする。

排水処理

工事区域に湧水、滞水等がある場合の排水施設への排水は、必ず沈砂槽を設け、常時その清掃に留意する。

地下埋設物件

公道内の地下埋設物に影響が予想される場合は、その位置を調査し、地下埋設物件図を作成するとともに、その管理者と必要な協議をし、議事録の写しを添付する。